【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2011-27725(P2011-27725A)
【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-006
【出願番号】特願2010-140147(P2010-140147)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　33/48　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　33/48　Ｚ
Ａ６１Ｂ　5/00　Ｄ
Ａ６１Ｂ　5/00　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月20日(2013.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
前記標本の識別情報を取得する識別情報取得部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とする医療診断支援装置。
【請求項２】
前記標本の解析に関するユーザ要件を指定するユーザ要件指定部と、
前記ユーザ要件指定部により指定されたユーザ要件を、前記撮像方法選択部による撮像方法の選択または前記画像処理方法選択部による画像処理方法の選択に反映させるユーザ要件反映部と、
をさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の医療診断支援装置。
【請求項３】
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法と、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法とに基づいて、少なくとも前記標本撮像部による前記標本の撮像開始から前記画像処理部による画像処理終了までに要する予定の処理時間を算出する処理時間

計算部、
をさらに備えることを特徴とする請求項１または２に記載の医療診断支援装置。
【請求項４】
前記処理時間計算部は、さらに、前記標本の解析中に前記予定の処理時間までの残りの処理時間を算出する、
ことを特徴とする請求項３に記載の医療診断支援装置。
【請求項５】
複数の表示方式を記憶する表示方式記憶部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記表示方式記憶部に記憶されている前記複数の表示方式から対応する表示方式を選択する表示方式選択部と、
前記表示方式選択部により選択された表示方式に基づいて、前記画像処理部により処理された画像を表示する画像表示部と、
をさらに備えることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項６】
標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
前記標本の識別情報を取得する識別情報取得部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
複数の参照データを記憶する参照データ記憶部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報と前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記参照データ記憶部に記憶されている前記複数の参照データから対応する参照データを選択する参照データ選択部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法および参照データ選択部により選択された参照データに従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とする医療診断支援装置。
【請求項７】
前記識別情報取得部により取得された識別情報と、前記標本撮像部が撮像した撮像方法と、前記画像処理部が画像処理した画像処理方法とを含む、前記標本に対するジョブデータを記憶するジョブデータ記憶部、
をさらに備えることを特徴とする請求項１～６のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項８】
前記画像処理部により得られる情報に基づいて、当該標本に対する医療診断支援情報を取得する医療診断支援情報取得部、
をさらに備えることを特徴とする請求項１～７のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項９】
前記医療診断支援情報取得部により取得した前記医療診断支援情報を、医療データを共有する医療システムに送信する医療診断支援情報送信部、

をさらに備えることを特徴とする請求項８に記載の医療診断支援装置。
【請求項１０】
標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
所定の撮像方法に基づいて前記標本を撮像することにより得られた識別情報取得用標本画像から、前記標本の識別情報を算出する識別情報算出部と、
前記識別情報算出部により算出された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報算出部により算出された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とする医療診断支援装置。
【請求項１１】
標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
複数の標本の個体番号および識別情報を記憶する識別情報記憶部と、
前記標本から個体番号を取得し、前記識別情報記憶部に記憶されている識別情報から、前記取得した個体番号に対応する識別情報を選択する識別情報選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とする医療診断支援装置。
【請求項１２】
前記画像処理方法記憶部に記憶する画像処理方法または前記撮像方法記憶部に記憶する撮像方法を、ネットワークを経由してサーバから取得する通信部、
をさらに備えることを特徴とする請求項１～１１のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項１３】
標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
ネットワークを経由してサーバと通信する通信部と、
前記標本から取得した個体番号に対応する識別情報を、前記通信部を介してネットワークを経由してサーバから選択する識別情報選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方

法選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とする医療診断支援装置。
【請求項１４】
前記ユーザ要件は、処理時間に関する要件を含む、
ことを特徴とする請求項２に記載の医療診断支援装置。
【請求項１５】
前記ユーザ要件は、解析の精度に関する要件を含む、
ことを特徴とする請求項２または１４に記載の医療診断支援装置。
【請求項１６】
前記処理時間計算部により算出された前記処理時間を表示する処理時間表示部、
をさらに備えることを特徴とする請求項３または４に記載の医療診断支援装置。
【請求項１７】
前記標本撮像部は、
光学フィルタ、液晶チューナブルフィルタまたは音響光学チューナブルフィルタを含むマルチバンドカメラを有する、
ことを特徴とする請求項１～１６のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項１８】
前記撮像方法記憶部は、バンド数、多段階露光の段数、深度の異なる撮像画像枚数、撮像倍率のいずれかを変更した複数の撮像方法を記憶する、
ことを特徴とする請求項１～１７のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項１９】
前記画像処理方法記憶部は、染色分離処理、デジタルステイン処理、シグナル強調処理、色正規化処理のいずれかの画像処理方法を含む複数の画像処理方法を記憶する、
ことを特徴とする請求項１～１８のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項２０】
前記複数の画像処理方法の各々は、スペクトル推定処理、色素量推定処理、アンミキシング処理のいずれかを含む、
ことを特徴とする請求項１９に記載の医療診断支援装置。
【請求項２１】
前記識別情報は、前記標本の支持部材に付されたバーコードからなり、
前記識別情報取得部は、バーコードリーダからなる、
ことを特徴とする請求項１～２０のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項２２】
前記識別情報は、文字情報からなり、
前記識別情報取得部は、文字読み取り装置からなる、
ことを特徴とする請求項１～２０のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項２３】
前記識別情報は、前記標本の診断方法、染色方法、臓器、診断情報の少なくとも１つを含む、
ことを特徴とする請求項１～２２のいずれか一項に記載の医療診断支援装置。
【請求項２４】
前記表示方式記憶部は、デジタルステイン処理による画像表示を含む複数の表示方式を記憶する、

ことを特徴とする請求項５に記載の医療診断支援装置。
【請求項２５】
前記表示方式記憶部は、シグナル強調処理による画像表示を含む複数の表示方式を記憶する、
ことを特徴とする請求項５または２４に記載の医療診断支援装置。
【請求項２６】
前記参照データ記憶部は、スペクトル推定処理に用いる統計データ、色素量推定に用いる色素のスペクトル、デジタルステイン処理や特定領域判定処理に用いる学習データ、色正規化処理に用いる色素量基準値のいずれかの参照データを含む複数の参照データを記憶する、
ことを特徴とする請求項６に記載の医療診断支援装置。
【請求項２７】
前記ジョブデータは、さらに、前記標本撮像部により取得された標本画像、前記画像処理部による画像処理に基づいて得られる情報を含む、
ことを特徴とする請求項７に記載の医療診断支援装置。
【請求項２８】
前記識別情報取得用標本画像は、前記標本撮像部によって前記標本を低倍で撮像することにより取得する、
ことを特徴とする請求項１０に記載の医療診断支援装置。
【請求項２９】
顕微鏡を用いて標本を撮像し、その取得した標本画像に基づいて前記標本のバーチャルスライド画像を取得するバーチャル顕微鏡システムであって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
前記標本の識別情報を取得する識別情報取得部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
前記画像処理部により画像処理された画像に基づいてバーチャルスライド画像を生成するバーチャルスライド画像生成部と、
を備えることを特徴とするバーチャル顕微鏡システム。
【請求項３０】
請求項１に記載の医療診断支援装置において用いられる標本支持部材であって、診断方法、染色方法、臓器、診断情報の少なくとも１つの識別情報が記録されたバーコードを備えることを特徴とする標本支持部材。
【請求項３１】
請求項１に記載の医療診断支援装置において用いられる標本支持部材であって、診断方法、染色方法、臓器、診断情報の文字が記載されたことを特徴とする標本支持部材。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１３】
第２の観点に係る発明は、第１の観点に係る医療診断支援装置において、
前記標本の解析に関するユーザ要件を指定するユーザ要件指定部と、
前記ユーザ要件指定部により指定されたユーザ要件を、前記撮像方法選択部による撮像方法の選択または前記画像処理方法選択部による画像処理方法の選択に反映させるユーザ要件反映部と、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
第３の観点に係る発明は、第１または２の観点に係る医療診断支援装置において、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法と、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法とに基づいて、少なくとも前記標本撮像部による前記標本の撮像開始から前記画像処理部による画像処理終了までに要する予定の処理時間を算出する処理時間計算部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
第４の観点に係る発明は、第３の観点に係る医療診断支援装置において、
前記処理時間計算部は、さらに、前記標本の解析中に前記予定の処理時間までの残りの処理時間を算出する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
第５の観点に係る発明は、第１～４のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
複数の表示方式を記憶する表示方式記憶部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記表示方式記憶部に記憶されている前記複数の表示方式から対応する表示方式を選択する表示方式選択部と、
前記表示方式選択部により選択された表示方式に基づいて、前記画像処理部により処理された画像を表示する画像表示部と、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】

また、第６の観点に係る発明は、標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
前記標本の識別情報を取得する識別情報取得部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
複数の参照データを記憶する参照データ記憶部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報と前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記参照データ記憶部に記憶されている前記複数の参照データから対応する参照データを選択する参照データ選択部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法および参照データ選択部により選択された参照データに従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とするものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
第７の観点に係る発明は、第１～６のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記識別情報取得部により取得された識別情報と、前記標本撮像部が撮像した撮像方法と、前記画像処理部が画像処理した画像処理方法とを含む、前記標本に対するジョブデータを記憶するジョブデータ記憶部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
第８の観点に係る発明は、第１～７のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記画像処理部により得られる情報に基づいて、当該標本に対する医療診断支援情報を取得する医療診断支援情報取得部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
第９の観点に係る発明は、第８の観点に係る医療診断支援装置において、

前記医療診断支援情報取得部により取得した前記医療診断支援情報を、医療データを共有する医療システムに送信する医療診断支援情報送信部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
さらに、第１０の観点に係る発明は、標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
所定の撮像方法に基づいて前記標本を撮像することにより得られた識別情報取得用標本画像から、前記標本の識別情報を算出する識別情報算出部と、
前記識別情報算出部により算出された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報算出部により算出された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とするものである。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
また、第１１の観点に係る発明は、標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
複数の標本の個体番号および識別情報を記憶する識別情報記憶部と、
前記標本から個体番号を取得し、前記識別情報記憶部に記憶されている識別情報から、前記取得した個体番号に対応する識別情報を選択する識別情報選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とするものである。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
第１２の観点に係る発明は、第１～１１のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記画像処理方法記憶部に記憶する画像処理方法または前記撮像方法記憶部に記憶する撮像方法を、ネットワークを経由してサーバから取得する通信部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
さらに、第１３の観点に係る発明は、標本を解析する医療診断支援装置であって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
ネットワークを経由してサーバと通信する通信部と、
前記標本から取得した個体番号に対応する識別情報を、前記通信部を介してネットワークを経由してサーバから選択する識別情報選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、
前記識別情報選択部により選択された識別情報、または、前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、
前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、
前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、
を備えることを特徴とするものである。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
第１４の観点に係る発明は、第２の観点に係る医療診断支援装置において、
前記ユーザ要件は、処理時間に関する要件を含む、
ことを特徴とするものである。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
第１５の観点に係る発明は、第２または１４の観点に係る医療診断支援装置において、
前記ユーザ要件は、解析の精度に関する要件を含む、
ことを特徴とするものである。

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
第１６の観点に係る発明は、第３または４の観点に係る医療診断支援装置において、
前記処理時間計算部により算出された前記処理時間を表示する処理時間表示部、
をさらに備えることを特徴とするものである。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
第１７の観点に係る発明は、第１～１６のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記標本撮像部は、
光学フィルタ、液晶チューナブルフィルタまたは音響光学チューナブルフィルタを含むマルチバンドカメラを有する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
第１８の観点に係る発明は、第１～１７のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記撮像方法記憶部は、バンド数、多段階露光の段数、深度の異なる撮像画像枚数、撮像倍率のいずれかを変更した複数の撮像方法を記憶する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
第１９の観点に係る発明は、第１～１８のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記画像処理方法記憶部は、染色分離処理、デジタルステイン処理、シグナル強調処理、色正規化処理のいずれかの画像処理方法を含む複数の画像処理方法を記憶する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
第２０の観点に係る発明は、第１９の観点に係る医療診断支援装置において、

前記複数の画像処理方法の各々は、スペクトル推定処理、色素量推定処理、アンミキシング処理のいずれかを含む、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
第２１の観点に係る発明は、第１～２０のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記識別情報は、前記標本の支持部材に付されたバーコードからなり、
前記識別情報取得部は、バーコードリーダからなる、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
第２２の観点に係る発明は、第１～２０のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記識別情報は、文字情報からなり、
前記識別情報取得部は、文字読み取り装置からなる、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
第２３の観点に係る発明は、第１～２２のいずれか一つの観点に係る医療診断支援装置において、
前記識別情報は、前記標本の診断方法、染色方法、臓器、診断情報の少なくとも１つを含む、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
第２４の観点に係る発明は、第５の観点に係る医療診断支援装置において、
前記表示方式記憶部は、デジタルステイン処理による画像表示を含む複数の表示方式を記憶する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００３６】
第２５の観点に係る発明は、第５または２４の観点に係る医療診断支援装置において、
前記表示方式記憶部は、シグナル強調処理による画像表示を含む複数の表示方式を記憶する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
第２６の観点に係る発明は、第６の観点に係る医療診断支援装置において、
前記参照データ記憶部は、スペクトル推定処理に用いる統計データ、色素量推定に用いる色素のスペクトル、デジタルステイン処理や特定領域判定処理に用いる学習データ、色正規化処理に用いる色素量基準値のいずれかの参照データを含む複数の参照データを記憶する、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
第２７の観点に係る発明は、第７の観点に係る医療診断支援装置において、
前記ジョブデータは、さらに、前記標本撮像部により取得された標本画像、前記画像処理部による画像処理に基づいて得られる情報を含む、
ことを特徴とするものである。
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
第２８の観点に係る発明は、第１０の観点に係る医療診断支援装置において、
前記識別情報取得用標本画像は、前記標本撮像部によって前記標本を低倍で撮像することにより取得する、　ことを特徴とするものである。
【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
さらに、上記第２の目的を達成する第２９の観点に係る発明は、顕微鏡を用いて標本を撮像し、その取得した標本画像に基づいて前記標本のバーチャルスライド画像を取得するバーチャル顕微鏡システムであって、
複数の画像処理方法を記憶する画像処理方法記憶部と、
複数の撮像方法を記憶する撮像方法記憶部と、
前記標本の識別情報を取得する識別情報取得部と、
前記識別情報取得部により取得された識別情報に基づいて、前記画像処理方法記憶部に

記憶されている前記複数の画像処理方法から対応する画像処理方法を選択する画像処理方法選択部と、

前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に基づいて、前記撮像方法記憶部に記憶されている前記複数の撮像方法から対応する撮像方法を選択する撮像方法選択部と、

前記撮像方法選択部により選択された撮像方法に従って、前記標本を撮像して標本画像を取得する標本撮像部と、

前記画像処理方法選択部により選択された画像処理方法に従って、前記標本撮像部により取得された標本画像を画像処理する画像処理部と、

前記画像処理部により画像処理された画像に基づいてバーチャルスライド画像を生成するバーチャルスライド画像生成部と、

を備えることを特徴とするものである。